

神さまのおはなし9月一年長児

シスター木田

9月は学年ごとに「神さまのお話」をしました。今回は年長児の内容を紹介します。

青さんになって、皆さんは自分のことが自分でできるようになりましたね。お兄さん、お姉さんになったしるしです。自分のことが自分でできるようになるために体の部分をたくさん使っています。さあ、どこを使っているのでしょうか。「手」「目」「口」「鼻」「耳」「足」「頭」そうですね。それから大事な...「そう、心」心をたくさん使いますね。今皆さんが話してくれたこれらを使って、自分のことをいろいろできるようになりました。けれど、手や目や足、心は自分のためにだけにあるのでしょうか？ そうですね。おともだちやいろいろな方をお手伝いするために、手や目や頭や心を使います。神さまからいただいた体や心を全部使って他の人のために生きた方がいます。イエスさまです。(私がつけている十字架を取り見せながら)イエス様は、苦しんでいる人を目で見、足で歩いて近づき、手で触れ、口～言葉で「もう大丈夫ですよ。私があります。」と声をかけかづけます。ご自分の全部を使っておともだちを助けたイエスさまのしるしが、この十字架です。

今日は、皆さんに紹介したい人がいます。(マザーテレサの写真をホワイトボ

ードに貼って)この方のお名前はマザー テレサです。知っている人もいますでしょう。

マザーは、インドでたくさんの方のつらい思いをしている人を助けた人です。私はインドに行った時、駅に降りてとってもびっくりしたことがありました。駅にたくさんの方が寝ているのです。住む所も食べる物もなく、着ているものも決してきれいではありません。多くの方がそんな様子でした。マザーテレサは、そのような家もなく、食べものや着るものがない人たちをよく見、近づいて声をかけ、自分の家に連れて帰ったのです。そして体を洗い、食べものを分け、きれいな着る服を着せてあげたのです。マザーテレサは、イエスさまが大好きで、イエスさまからの「困っている人を助けてください。」というお願いに応えなかったのです。

イエスさまは、わたしたちにも、お願いをしています。「一番困っている人のためにお手伝いしてください。」と。いただいている手や目、口や足を使ってマザーテレサのように、神さまのお手伝いをする人になってほしいとシスターは願っています。

